

同志社女子大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 博士課程(前期) 履修モデル

1. 看護学研究分野

看護学研究分野では、「共通科目」の履修をととして、看護学研究や実践を支える基礎的理論、研究手法を修得し、研究倫理に関する理解を深めるとともに、「専門科目」である「看護学研究科目」を履修することにより、生涯発達の視点で対象及び家族、健康に関する諸制度と看護の関係をそれぞれ理解することにより、様々な健康状態にある対象への看護上の課題に取り組む。そこで明確になった研究課題について、研究計画の立案からデータの収集、解析等を経て、「特別研究」で修士論文を作成する。

2) 組織での指導を担う看護職者を目指し、臨床看護学領域を主たる研究分野とし、長期履修制度を活用した学生の場合

(1) 入学までのプロセス

3年制の看護師学校を卒業後、C総合病院一般内科病棟にて18年間勤務。長い経験知を理論的に発展させ、事象に対する分析的視点を持ち、理論を検証できる能力を身につけたいと考え、勤務しながら学べる3年間の長期履修制度を活用して大学院に進学した。

(2) 科目選択

①共通科目（必修8単位、選択4単位 計12単位）

看護学研究特論、看護研究方法論、理論看護特論、看護倫理特論、科学英語論文クリティーク、看護管理特論、

②看護学研究科目（臨床看護学領域 選択10単位）

成人看護学特論Ⅰ、成人看護学特論Ⅱ、公衆衛生看護学特論Ⅰ、看護学演習

③特別研究（選択8単位）

特別研究

(3) 修士論文テーマ 「糖尿病予防のためのセルフモニタリングの検討」

(4) 修了後の進路

修了後、勤務していたC総合病院看護部の教育担当師長として教育的・研究的指導を担う。
また、看護事象に対しての改善のための取り組みを積極的に行い、看護の質向上に努めている。

科目 区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数		履修年次			
				必修	選択	1年生	2年生	3年生	
共通科目		看護学研究特論	1春	2	2	○			
		看護研究方法論	1秋	2		○			
		科学英語論文クリティーク	1春→2春				○		
		理論看護特論	1春	2		○			
		看護倫理特論	1春	2		○			
		看護教育特論	1春						
		看護管理特論	1秋→2秋				○		
		健康科学特論	1春						
		小計(8科目)	—	8		8	8	4	
看護学研究科目	臨床看護学	成人看護学特論Ⅰ	1春		2	○			
		成人看護学特論Ⅱ	1秋		2	○			
		ウイメンズヘルス特論Ⅰ	1春		2				
		ウイメンズヘルス特論Ⅱ	1秋		2				
	広域看護学	高齢者・在宅看護学特論Ⅰ	1春		2				
		高齢者・在宅看護学特論Ⅱ	1秋		2				
		公衆衛生看護学特論Ⅰ	1秋→2秋		2		○		
		公衆衛生看護学特論Ⅱ	1秋		2				
		看護学演習	1秋→2秋		4		○		
		小計(9科目)	—		20	4	6		
	助産学実践科目	基盤科目	助産学概論	1春		2			
			リプロダクティブヘルス論	1春		2			
			ペアレンティング援助論	1春		2			
			妊娠期助産診断技術学	1春		2			
分娩期助産診断技術学			1秋		2				
産褥・新生児期助産診断技術学			1春		2				
助産診断技術学演習			1通		2				
地域母子保健論			1秋		1				
助産マネジメント論			1秋		2				
助産学実習Ⅰ			1春		2				
助産学実習Ⅱ			1秋		7				
助産学実習Ⅲ			2通		2				
小計(12科目)		—		28					
発展科目		赤ちゃん学特論	1秋・2秋		2				
		国際母子保健論	1秋・2秋		1				
		統合ヘルスケア論	1秋		1				
		遺伝カウンセリング論	1秋・2秋		1				
		リプロダクティブヘルス演習	2春		1				
		高次助産診断技術学演習	2通		1				
		助産学実習Ⅳ	2春		2				
		助産学実習Ⅴ	2秋		2				
		小計(8科目)	—		11				
	特別研究	特別研究	2通→3通		8			○	
課題研究		2通		4					
小計(2科目)		—		12			8		
合計(39科目)			—	8	79	30			